

研究課題名 乳房再建術の安全性と予後に関する多施設後ろ向き検討(乳癌学会班研究)

研究責任者名 広島大学病院 乳腺外科 助教 笹田伸介

研究期間 2021年3月12日 倫理委員会承認後 ~ 2025年12月31日

対象者

2022年1月1日から2024年12月31日の間に、広島大学病院乳腺外科および共同研究

機関で乳がんと診断され、乳房再建術による治療を受けられた患者さん。

意義・目的

乳房再建術が保険適応となり、乳房全切除術+乳房再建術を選択する患者さんが増えています。乳房再建術は術後の乳房の整容性が重要視される手術法ですが、手術の合併症や乳がんの再発リスクは十分には検討されていません。今回、乳房再建術の安全性と予後を検討することを目的に、この研究を計画しました。

方法

本研究は、診療録(カルテ)情報を調査して行います。

カルテから使用する内容は患者基本情報(年齢、既往歴、手術方法、術後治療、術後合併症、予後など)、画像検査情報、病理検査情報、などです。

これらの診療情報をもとに、乳房再建術の安全性と予後に関する分析を行い、再建術施行後の乳房内再発の出現する仕組みについて調べます。

なお、この研究に使用する情報は、以下の共同研究機関に提供させていただきます。提供の際、氏名、生年月日などのあなたを直ちに特定できる情報は削除し、提供させていただきます

大阪国際がんセンター 乳腺内分泌外科 中山貴寛
大阪大学医学部附属病院 乳腺内分泌外科 島津研三

近畿大学医学部附属病院 乳腺内分泌外科 菰池佳史
相良病院 乳腺外科 相良安昭
昭和大学病院 乳腺外科 中村清吾
市立貝塚病院 乳腺外科 稲地英生

試料・情報の管理責任者

研究代表機関 岡山大学病院乳腺・内分泌外科 枝園忠彦
本学 広島大学病院 乳腺外科 助教 笹田伸介

試料・情報の保存、二次利用

この研究に使用した情報は、研究の中止または研究終了後 5 年間が経過した日まで、広島大学原爆放射線医科学研究所腫瘍外科研究室内で厳重な管理のもと保存させていただきます。保存した情報を用いて新たな研究を行う際は、倫理委員会にて承認を得ます。

個人情報の保護について

調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5869